

佐倉厚生園病院 回復期リハビリテーション病棟（新館）に

ご入院された患者様を対象とした後方視的研究について

佐倉厚生園病院では「回復期リハビリテーション病棟における90歳以上の超高齢大腿骨近位部骨折術後患者様の栄養状態と日常生活動作の関連に関する調査」の研究を行っております。この研究は、90歳以上の超高齢大腿骨近位部骨折術後患者様の栄養状態とリハビリテーション治療介入による日常生活動作能力変化との関連を明らかにする目的で行なわれます。

【研究課題】

回復期リハビリテーション病棟における超高齢大腿骨近位部骨折術後患者の栄養状態とADLの関連に関する調査

【研究責任者氏名】

公益財団法人日産厚生会 佐倉厚生園病院 リハビリテーション部 太田智子

【研究期間】

公益財団法人日産厚生会医学研究所 倫理委員会での承認後から2027年3月31日まで

【対象となる方】

2020年4月1日から2023年3月31日に佐倉厚生園病院 回復期リハビリテーション病棟（新館）を退院された75歳以上の大腿骨近位部骨折術後患者様

【研究の目的・意義】

本研究によって、回復期リハビリテーション病棟に入院される超高齢大腿骨近位部術後患者様の栄養状態とリハビリテーション治療介入による日常生活動作能力の変化との関連が明らかとなることで、今後、超高齢大腿骨近位部骨折術後患者様のリハビリテーション治療介入による日常生活動作能力の改善を、栄養状態改善の側面からより効果的に行える可能性があると考えられます。

【研究の方法】

2020年4月1日～2023年3月31日に当院回復期リハビリテーション病棟を退院された大腿骨近位部骨折術後患者様を対象とし、診療録や栄養情報を調査します。90歳以上の超高齢群と75～89歳の対照群にわけて、栄養状態と日常生活動作能力の改善度との関係を検討します。

【個人情報の保護】

個人情報保護のため、研究データは匿名化された状態で収集・保管されます。研究結果は、

学会や医学雑誌で報告させていただくことがあります。研究結果を公表する際は、匿名性を守ります。研究データ及び結果は、研究以外に用いることはありません。

【研究費用について】

今回の研究に必要な費用について、患者様に負担を求めることはありませんが、通常の診療における自己負担分はご負担いただきます。なお、患者様への謝金はありません。

この研究は、公益財団法人日産厚生会医学研究所倫理委員会の承認を受け、佐倉厚生園病院病院長の許可を受けて実施するものです。

本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。

【お問い合わせについて】

この研究のためにご自分（あるいはご家族）のデータを使用してほしくない場合は病院職員にお伝えいただくか、下記の問い合わせ先まで2024年3月31日までにご連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

ご意見、ご質問等がございましたら、お気軽に下記までお寄せください。

2023年12月

【問い合わせ先】

研究責任者：太田智子

〒285-0025 千葉県佐倉市鏑木町320番地

公益財団法人 日産厚生会 佐倉厚生園病院

Tel: 043-484-2161(代) Fax: 043-484-1825